

事業所名		支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		7 年		4 月		1 日	
放課後等デイサービス・児童発達支援 HIKARIE 放課後等デイサービス・児童発達支援 HIKARIE 3rd 放課後等デイサービス・児童発達支援 HIKARIE 5th													
法人（事業所）理念		・選択肢と可能性に囲まれた社会を創造する ・見えない「障がい」ほど見ようとする ・社会側の配慮の欠如が「障がい」の本質と捉える											
支援方針		○支援者の専門性 ・特別支援教員免許の中でも最上級である専修免許を所持している職員がいます。 ・大学院で特別支援教育を学んだ者が1名、大学で特別支援教育を学んだ者が1名います。 ・上記の職員が中心となり、他のスタッフに定期的な研修を受講してもらい、適切な支援が平等にできるシステムを構築しています。 ・特別支援学校教諭歴10年以上の職員が2名居るため、学校での課題やどのように進路選択をしていくか教師目線をもって本音で話すことができます。				○活動内容の捉え方 ・お子様を休憩させるという時間ではなく、学校で補えなかった力の育成、お子様の課題にスポットを当てカリキュラムを作成します。 ・定期的に保護者様とのヒアリングを実施し、共通理解を図っていきます。それぞれがそれぞれの考え方ではお子様も混乱してしまいます。学校、家庭、事業所がしっかりと共通した認識をもって支援していきます。				○環境とシステム ・私たちは、環境面に最大限の配慮をします。テナントの狭い1つを借りて提供する事業所ではなく、誰もが通いやすいような建物を準備しています。 ・開かれた事業所を目指しています。そのために、自社開発アプリ・キャンパスを活用し、活動内容を保護者様が自宅でスマートフォン、タブレットで視聴できるようにします。			
営業時間		学校授業日		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無		あり	なし
		学校休業日		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで				
		支 援 内 容											
		U12 低学年グループ U18 高学年グループ											
本人支援	①健康・生活	○教科学習 ① ・宿題の見届けを軸に、復習も指導し、個に応じて時間をかけたり、教材を工夫したりしながら丁寧に学習を進めます。 ○遊び＆運動 ②・⑤ ・遊びや運動を通して、体力の向上、身体のスムーズな動かし方、またゲームのルールや友達との適切なかわり方等を楽しく学んでいきます。 ○行事準備 ③・④ ・事業所内全体で実施するイベント（夏祭りやミニ運動会等）に関する道具づくりや、装飾物を考案する活動を通し、協調性や達成感を味わえるようにしています。 ○ソーシャルスキル ③・④ ・友達やスタッフとのかかわりを通し、学校生活や社会生活において他者と円滑にかかわることができることを目標に社会的技能を実践方式で分かりやすく学習していきます。						○主要教科学習 ① ・『宿題』を行う時間と『課題学習』（事業所が準備したテキストやプリント）を行う時間を設定し、その時間内メリハリを付けて全員で頑張っており取り組んでいます。行ったテキストやプリントは1つのファイルに綴じ、懇談で保護者の方に提示し、進捗等の確認をしてもらいます。 ○スキルアップタイム ③・④ ・社会に出てから役に立つことにおいて学んでいます。電話の応対や敬語の使い方、病院の選び方、電車の時刻表の見方等みんなで学習し、個々のスキルをアップさせることを目標に取り組んでいます。 ○ソーシャルスキル ③・④ ・ソーシャルスキル（SST）は、社会で人と人との関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練をしています。先ずは知識として学んでから、実際にコミュニケーション、対人関係をケーススタディします。 ○リーダー会議 ④ ・中学生を中心に、定期的に会議を開催し、仲間が過ごしやすい環境づくりや事業所でのイベント内容の決定、自分たちの活動内容（こんな活動をしてみたい）等を話し合い、職員に提案する会議を開催しています。					
	②運動・感覚	○戸外活動 ①・② ・過去には、友愛アリーナ（プール、体育館）、BBQ、樽見鉄道、畜産センター、アクアトト、水のパビリオン等に出かけ、公的なマナー及び社会経験を養っています。 ○日常生活訓練 ・日常生活動作(食事・更衣、移動・排泄・整容)にまつわる事を中心に学習します。特別支援学校で1日1～2時間目に日常生活の指導が授業で行われていますが、学校と連携し、同じ視点で支援をします。 ○コミュニケーション ④ ・自分なりの表出方法を考えます。話すことが苦手な子には手話やジェスチャーを強化したり、どうしても相手に自分なりに伝えていけるかを一緒に考えていきます。						○検定対策 ① ・漢字検定、英語検定の合格を目指し、検定試験に挑戦します。その成功体験を通して自信につなげることもねらいの一つです。希望者があれば、ワープロ検定も視野に入れています。 ○体づくり運動 ①・② ・体育の教員免許を所持した職員を配置し、特に体づくり運動、体ほぐし運動に力を入れ、体の調整、心身の健康を保てることを目指していきます。 ○戸外活動 ③・⑤ ・過去には、野外BBQ、数学ワンダーランド、金華山、セントレア、ドリームシアター、ファミリーパーク、友愛アリーナ（体育館）、鶴岡ミュージアム等、長期休暇を中心に様々な場所に出かけていき、社会性を養っています。					
	③人間関係 社会性	○作業学習 ③・⑤ ・発達段階に応じて、特別支援学校で行われている『作業学習の時間』の練習や体験ができるようにします。段階を踏んで、まずは手先・指先の訓練や仕付け作業を行ったりし、作業に取り組む姿勢、継続力が身に付くように行っていきます。 ○製作活動 ②・⑤ ・ものづくりを通し、手先・指先、感覚を養うとともに、楽しみながら自分なりの作品を作っていきます。						○ビジネスマナー ③ ・働く上での職業教育に特化した学習を行います。現場実習に向けてのノートの書き方、挨拶の仕方、将来働く上でのビジネスマナーを学んでいきます。					
	④言語 コミュニケーション												
	⑤認知・行動												
家族支援		・定期的な懇談の実施 ・アプリを通してのリアルタイムでの情報共有						移行支援		・学校との連携 相談支援事業所との情報共有			
地域支援・地域連携		・関係機関連携会議						職員の質の向上		・月に一度の全体研修 ・定期的に行われるグループ会議等			
主な行事等		・夏祭り ・各グループの実態に応じた事業所外活動等											